

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 3月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2970600587
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア桜井
所在地	桜井市粟殿新町1007-11 (電話) 0744-49-3177
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1
訪問調査日	平成20年3月12日

【情報提供票より】(20年2月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 15 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7 人, 非常勤	人, 常勤換算 6.8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,700 円	その他の経費(月額)	38,850 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	100 円	昼食	300 円
	夕食	370 円	おやつ	円
または1日当たり		770	円	

(4) 利用者の概要(2月14日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	7 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名	
要介護3	2 名	要介護4	1 名	
要介護5	1 名	要支援2	名	
年齢	平均 83 歳	最低	71 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	済生会中和病院・大福診療所
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近鉄電車、JRの桜井駅から徒歩で10分足らずの街中に位置し、道を隔てた向かい側には大型のショッピングセンターがあります。食材、日用品、嗜好品などの買い物に、また散歩を兼ねてウインドウショッピングにと楽しんで利用されています。開設して2年ですが、2名の利用者のターミナルケアを経験されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回外部評価で受けた課題については時の見当識への配慮不足があり、見やすいところへ時計とカレンダーの取り付けは実行されています。排泄時におけるプライバシーへの配慮では、職員は声をかけてからの脱衣を実行されています。車椅子対応のトイレは狭く、車椅子ではいと扉が開いたままになりがちですが、その点の改善が望まれます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>日々の職員の意見を取り入れながら管理者と介護支援専門員の二人で作成されますが、職員が自ら取り組むことにより評価に対する意識も高まり、日々のケアを振り返る機会にもなりますので全職員で自己評価に取り組んでいかれるよう望みます。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>今年の2月に初回の会議が開催されていますが、参加者は地域住民、利用者、職員だけでした。初回でもあり会議の開催目的やホーム、認知症への理解の説明が主になっています。今回は急な連絡のため家族、民生委員が不参加となったこと及び行政、包括支援センターへの声かけがなされていませんが、年間計画を立て2ヶ月に1回の開催を実行されるよう求めます。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族らの訪問時には、意見や要望を受ける機会と認識され、職員から話しかける姿勢があります。出た意見に対しては運営に活かす取り組みがなされています。重要事項説明書に外部の相談窓口として市等の公的機関の窓口もあげられています。電話番号を記載すると共に、家族が入り出る玄関にも掲示されるよう望みます。また、家族会を作る前段階として家族が一堂に集える機会作りなど工夫を期待します。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ボランティアが来られたり、地域の行事にも参加する等の取り組みは見られますが、自治会に参加する等積極的な地域との交流は希薄です。地域と孤立しないためには、積極的に自治会の一員となり地域の行事や活動への参加による交流が望まれます。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社の理念とされている<「個」の尊重主義・安心/信頼/快適>をホームの理念とされています。		地域密着型サービスに位置づけされたことから、地域の中での暮らしの重要性を考えに入れ、職員全員で目指すものをホーム独自の理念とされるよう望みます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新任研修で話されています。またホームの玄関、事務室に明示されています。		毎日の申し送りやミーティング時、研修時に理念に触れ、理念の具体化を図り、日々のケアに活かされるよう期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティアが来られたり、地域の行事にも参加する等の取り組みは見られますが、自治会に参加する等積極的な地域との交流は希薄です。		地域と孤立しないためには、積極的に自治会の一員となり地域の行事や活動への参加による交流が望まれます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、日々の職員の意見を取り入れながら管理者と介護支援専門員の二人で作成されます。前回の外部評価を活かしてサービスの改善に取り組まれています。		職員が自ら取り組むことにより評価に対する意識も高まり、日々のケアを振り返る機会にもなりますので全職員で自己評価に取り組んでいかれるよう望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年の2月に初回の会議が開催されていますが、参加者は地域住民、利用者、職員だけでした。初回でもあり会議の開催目的やホーム、認知症への理解の説明が主になっています。		今回は急な連絡のため家族、民生委員が不参加となったこと及び行政、包括支援センターへの声かけがなされていませんが、年間計画を立て2ヶ月に1回の開催を實行されるよう求めます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	訪問歯科、訪問理容の紹介や利用者のターミナルなど色々相談に乗ってもらうため市の窓口にはよく出向き連携が取れています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書と共に、個々に近況と当月の二日分をピックアップした具体的な詳しい様子を記載された便りが送付されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の訪問時には、意見や要望を受ける機会と認識され、職員から話しかける姿勢があります。出た意見に対しては運営に活かす取り組みがなされています。		重要事項説明書に外部の相談窓口として市等の公的機関の窓口もあげられていますが、電話番号を記載すると共に、家族が出入りする玄関にも掲示されるよう望みます。また、家族会を作る前段階として家族が一堂に集える機会作りなど工夫を期待します。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新しい職員には早い期間から入ってもらい、辞める職員と引継ぎの期間を十分に取られています。また利用者の癖、気をつけることなどチェックポイントをしっかり伝えておられます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修はあります。ヘルパーの資格を取るための講習等は各自の考えの下でされています。		職員が段階的に力をつけるために年間計画の中で研修を位置づけ、時間的に、また経済的に援助がなされるよう期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社が設置、運営されている他のグループホームとの交流もあまりないようです。		同一系列のグループホームはもとより、他のグループホームとの交流は刺激にもなり情報交換の場としてサービスの質の向上にもつながりますので、積極的に取り組まれるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>契約後2,3日での利用が多いので、面談により得たアセスメントを職員に伝えておいて本人に出来るだけダメージがないように配慮されています。</p>		<p>急な利用で、それまでに何回かホームに立ち寄りなじみの関係を作る時間がなければ、利用日には家族が朝から一緒に来て、安心して就寝されるまでずっと利用者につき添うなど、本人の不安を取り除く工夫が望まれます。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員の気持ちが落ち込んでいる時、利用者は敏感に感じ取られ励ましてもらったり、元気をもらったりされています。また利用者に変な喜んでもらった時、一緒に楽しく笑い合えた時など職員も同じ気持ちを抱く等共に支えあう関係を築くようにされています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントでの課題を把握した上で、普段の様子から利用者の思いや希望、意向の把握に努め、困難な場合は家族や親しい方達から情報を得ておられます。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>初回は本人、家族も加わり職員、ケアマネジャー、管理者など関係者との話し合いで作成されます。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直しは半年毎に1回されています。また変化が生じたときはその都度見直しがされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者等からの「入院ではなくホームでターミナルを」との希望により、ホームで看取りを実現されています。通院介助や衣服を取りに家に帰りたいとの要望などにも応え、職員が同行する等柔軟な支援がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用時に希望されるかかりつけ医にされています。状況に変化があればかかりつけ医と連絡、相談されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	出来るだけ早い段階から、本人や家族、医師、職員などホームで看取ることの方針を定め共有されています。段階的に最良の支援方法を、繰り返し全員で話し合われています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の入った記録などはきちんと引き出しに保管されている他、職員の声かけや対応はさりげなくされ、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう配慮されています。		車椅子対応のトイレが狭く、扉が開いたままになりがちであることや脱衣所が洗面所と一緒になっていますので、プライバシーの確保のために工夫をお願いします。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは設定されていますが、起床時間、入浴時間、散歩などその日の気分にも配慮し、強要はせずゆっくり待ち、個別性のある支援をされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味噌汁作りや食事の準備、後片付け等利用者一人ひとりの力量にあわせて一緒にされています。業者の献立、食材使用なので月に一度は皆でお好み焼きなどを作り楽しんでおられます。		職員は各自お弁当となっていますので、利用者と一緒に同じ食事をされるよう望みます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は2日に1回で時間も基本的には決まっていますが、体調や時間帯に配慮して支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	裁縫の得意な方が多く、ボタン付け、雑巾縫い、ゴムの入れなおしなどをしてもらったり、掃除機かけが上手な方に掃除をしてもらったり役割の場面作りを支援されています。花見、豆まきなど季節の楽しみごと、奈良公園へのピクニックなど気晴らしの取り組みがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買い物、図書館へ出かけたり、玄関前での日向ぼっこなど戸外に出るよう支援がされています。		建物前の花を植えられている場所にベンチを置き、前を通る車や人を眺めながら日光浴、外気浴、仲間との語らいの場になるようにされても良いのではないのでしょうか。
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りの方法を徹底し、一人ひとりその日の気分や状態をきめ細かくチェックすることで日中は施錠はせず利用者の自由な暮らしを支援されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム独自で、定期的に避難訓練をされています。		夜間想定訓練もされるよう求めます。また、地域の協力体制として地域住民や、警察署、消防署等との連携も図られるよう望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分の補給について記録され、栄養バランスはきちんと計算されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下の壁には色紙、チラシなどを使い皆で作られた色々な色合いの満開の桜がはってあり、季節感を感じます。リビングは利用者の馴染みの椅子をさりげなく置等して安心感のあるものにされている他、台所も調理しているところが見えるようオープンにする等生活感のある共用空間になっています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に仏壇や筆筒など使い慣れたものを持ち込まれている他、写真や作品を飾り本人が安心して過ごせる空間になっています。		